



Cisco Unity から **Cisco Unity Connection** への移行検証テスト レポート

初版:2012年05月29日 最終更新:2012年06月13日

シスコシステムズ合同会社 〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp お問い合わせ先:シスココンタクトセンター 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む) 電話受付時間:平日 10:00~12:00、13:00~17:00 http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/ 【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきま しては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更され ている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容 については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販 売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行検証テスト レポート 1

概要 1

Cisco Unity のバックアップを作成する手順 2

Cisco Unity のバックアップを Cisco Unity Connection で復元する手順 3

Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順 4

Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順7

Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順 9

Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順 12

テスト構成 15

テスト構成 16 構成詳細(全リリース共通) 16 互換性マトリクス 17 試験対象移行パス 17

テスト結果 19

Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行 19 Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行 22 Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行 25 Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行 28

制限事項と関連資料 33

移行のための条件 33

関連資料 34



存 ■ 3

Cisco Unity から **Cisco Unity Connection** への 移行検証テスト レポート

- 概要, 1 ページ
- Cisco Unity のバックアップを作成する手順,2ページ
- Cisco Unity のバックアップを Cisco Unity Connection で復元する手順, 3 ページ
- Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順, 4 ページ
- Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順, 7 ページ
- Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順, 9 ページ
- Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順, 12 ページ



Cisco Unity は、シスコの最高クラスのボイスメッセージング ソリューションです。世界中のユー ザが Unity を導入しており、競合するソリューションのほとんどで、その最終的な評価を行う際 の基準となっています。しかし、技術上、組織上、および競合上のさまざまな要素によって、新 しいボイスメッセージングプラットフォームが必要とされるようになってきました。アプライア ンスの安定性、強固で柔軟性の高いフィーチャ セットに加えて、標準的なボイスメールのみのソ リューションとフル機能を備えたユニファイドメッセージング ソリューションとの間のギャップ を解消する機能を持つプラットフォームが求められています。

Unity Connection は、シスコの初めてかつ唯一のLinux ベースのボイスメッセージングアプライア ンスです。Unity Connection は、評価の高いLinux ベースの Cisco Unified Communications Manager と同一のプラットフォームを基盤としており、稼働時間が長く、メンテナンスにかかる時間は短 くなっています。WindowsベースのアプリケーションであるUnityと比較すると、Unity Connection では、セットアップにかかる時間も大きく短縮されています。

このマニュアルには、日本語にローカライズされた環境における Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行テストの結果を掲載しています。 このテストには、日本語環境におけるさま ざまなリリースの Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行が含まれています。

シスコのIT部門は、拡張性やユーザ向けの機能に関する目的を達成するために、Cisco Unityから Cisco Unity Connection に移行することを決定しました。

シスコでは、Consolidated Object Backup and Restore Application Suite (COBRAS) という移行ツー ルセットを開発しました。このツールにより、ユーザはさまざまな機能を実行することができま す。COBRAS インポート ツールを使用すると、Cisco Unity から Unity Connection への移行を実行 できます。移行後は、すべてのサブスクライバと機能を Unity Connection で復元する必要があり ます。

Cisco Unity のバックアップを作成する手順

手順

ステップ1	Cisco Unity に COBRAS エ	クスポート ツール バージ	ション 7.0.120 をインスト	、ールします _.
-------	------------------------	---------------	-------------------	---------------------

- ステップ2 [Start]>[All programs]>[Cisco Unity Tools Depot]>[管理ツール (Administration Tools)]>[COBRAS エクスポート ツール (COBRAS Export Tool)]の順に選択します。
- ステップ3 [COBRAS エクスポート ツール (COBRAS Export Tool)]をダブルクリックします。[データベー スの保存 (Store Database)]ポップアップが表示されます。 このポップアップ ウィンドウで、[参 照 (Browse)]ボタンをクリックして、バックアップを保存するフォルダを選択します。
- **ステップ4** [データのエクスポート(Export Data)]ボタンをクリックします。選択したフォルダにバックアップが保存されます。

Cisco Unity のバックアップを **Cisco Unity Connection** で復 元する手順

手順

- **ステップ1** Cisco Unity Connection で[管理者(Administrator)]ページ>[ユーザ(Users)]>[新規追加(Add New)]の順に選択して、新規ユーザを追加します。
- ステップ2 [ユーザタイプ(User Type)]で、[メールボックスがあるユーザ(User with Mailbox)]を[メール ボックスがないユーザ(User Without Mailbox)]に変更し、必要なフィールドすべてに入力して、 保存します。
- **ステップ3** ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[パスワードの設定(Password Settings)]の順に選 択して、[無期限にする(Does Not Expire)]チェックボックスをオンにします。
- ステップ4 ユーザを選択し、[編集(Edit)]>[パスワードの変更(Change Password)]の順に選択して、Web アプリケーションパスワードを変更します。
- ステップ5 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[役割(Roles)]の順に選択します。[リモート管理者(Remote Administrator)]を[使用可能な役割(Available Roles)]から[割当済みの役割(Assigned Roles)]に移動させて、保存します。
- ステップ6 Cisco Unity Connection の[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[アドバンス(Advance)]>[Connection 管理者(Connection Administrator)]の順に選択し、[データベースプロキシ:サービスシャットダウンタイマー(日)(Database Proxy: Service Shutdown Timer (in Days))]の日数を変更します。
- ステップ7 Cisco Unity Connection で、[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[SMTP の設定(SMTP Configuration)]>[サーバ(Server)]の順に選択し、[信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する(Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]チェックボックスをオ

ンにして、[信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ(Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses)] をディセーブルにし、保存します。

- **ステップ8** Cisco Unity Connection の [サービスアビリティ(Serviceability)]>[ツール(Tools)]>[サービス 管理(Service Management)]>[オプションサービス(Optional Services)]>[Connection データベー スプロキシをアクティブにする(Activate Connection Database Proxy)] の順に選択します。
- **ステップ9** COBRAS インポート ツール バージョン 1.2.4 を英語版 Windows OS にインストールします(前提 条件:.NET 2.0 と Informix ODBC ドライバをインストール済みであること)。
- ステップ10 [Start] > [All programs] > [Cisco Systems] > [COBRAS] > [COBRAS Import for Connection] の順に選択 します。
- ステップ11 COBRAS インポート ツールをダブルクリックすると、[Cisco Unity Connection ログイン (Cisco Unity Connection Login)] ポップアップが画面に表示されます。
- ステップ12 [サーバ (Server)] オプションに Unity Connection の IP を指定します。
- **ステップ13** ステップ1で追加したユーザクレデンシャルを使用してログインし、[OK]ボタンをクリックします。
- ステップ14 [COBRAS Import for Unity Connection] ポップアップ ウィンドウが画面に表示されます。[バック アップ データベースの場所を選択(Select Backup Database Location)]>[参照(Browse)]の順に 選択し、Unity のバックアップ ファイルが保存されているフォルダを選択します。
- ステップ15 説明に従って、Unityのデータを Unity Connection にインポートします。

Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への 移行手順

テストの説明:

COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity 4.0(5) のデータが Cisco Unity Connection 8.6(2a) SU1 で正しく復元されることを確認します。

手順

- **ステップ1** Cisco Unity Connection で[管理者(Administrator)]ページ>[ユーザ(Users)]>[新規追加(Add New)]の順に選択して、新規ユーザを追加します。
- ステップ2 [ユーザタイプ(User Type)]で、[メールボックスがあるユーザ(User with Mailbox)]を[メール ボックスがないユーザ(User Without Mailbox)]に変更し、必要なフィールドすべてに入力して、 保存します。
- ステップ3 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[パスワードの設定(Password Settings)]の順に選択して、[無期限にする(Does Not Expire)]チェックボックスをオンにします。
- ステップ4 ユーザを選択し、[編集(Edit)]>[パスワードの変更(Change Password)]の順に選択して、Web アプリケーションパスワードを変更します。
- ステップ5 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[役割(Roles)]の順に選択します。[リモート管理者(Remote Administrator)]を[使用可能な役割(Available Roles)]から[割当済みの役割(Assigned Roles)]に移動させて、保存します。
- ステップ6 Cisco Unity Connection の[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[アドバンス(Advance)]>[Connection 管理者(Connection Administrator)]の順に選択し、[データベースプロキシ:サービスシャットダウンタイマー(日)(Database Proxy: Service Shutdown Timer (in Days))]の日数を変更します。
- ステップ7 Cisco Unity Connection で、[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[SMTP O設定(SMTP Configuration)]>[サーバ(Server)]の順に選択し、[信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する(Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]チェックボックスをオンにして、[信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ(Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses)]をディセーブルにし、保存します。
- **ステップ8** Cisco Unity Connection の [サービスアビリティ (Serviceability)]>[ツール (Tools)]>[サービス 管理 (Service Management)]>[オプションサービス (Optional Services)]>[Connection データベー スプロキシをアクティブにする (Activate Connection Database Proxy)]の順に選択します。
- **ステップ9** COBRAS インポート ツール バージョン 1.2.4 を英語版 Windows OS にインストールします(前提 条件:.NET 2.0 と Informix ODBC ドライバをインストール済みであること)。
- ステップ10 [Start] > [All programs] > [Cisco Systems] > [COBRAS] > [COBRAS Import for Connection] の順に選択 します。
- ステップ11 COBRAS インポート ツールをダブルクリックすると、[Cisco Unity Connection ログイン (Cisco Unity Connection Login)]ポップアップが画面に表示されます。
- ステップ12 [サーバ (Server)] オプションに Unity Connection の IP を指定します。
- **ステップ13** ステップ1で追加したユーザクレデンシャルを使用してログインし、[OK] ボタンをクリックします。
- ステップ14 [COBRAS Import for Unity Connection] ポップアップ ウィンドウが画面に表示されます。[バック アップ データベースの場所を選択(Select Backup Database Location)]>[参照(Browse)]の順に 選択し、Unity のバックアップ ファイルが保存されているフォルダを選択します。

	a surger surger and been a service surger as a
Options Help	
ne COBRAS import utility works in andlers, Schedule and/or Public Ito the Unity Connection server a	i conjunction with the CDBRAS export tool to allow restores, moves and migrations of Subscribers, Call Handlers, Interview Distribution Lists and their membership information. In the following wizard pages you will select which objects you wish to restor and then be asked to resolve all conflicts and missing links associated with those items you choose to restore.
ease review the help file and on eful information that should be vi	screen instructions carefully before proceeding. There are also training videos available on the tools' home page that contain iewed before using COBRAS in a production environment.
nity Connection Server Info	ormation
Server Name:	10.78.239.214
Unity Connection version:	8.6.2.0ES25
Total call handler count:	8
Tatal a kasakasaan	-
	•
Select backup databa	se location
C:\Documents and Settings\hcl\	Desktop\CU4\primary\COBRAS_Backup_120202_05_51_40\UnityDBData_Backup_120202_
Unity version:	4.0(5.0)
Server Name:	UNITY-FOUR
Backup Date:	2/2/2012 5:51:41 AM
backap bace.	
Total call handler count:	3
Total call handler count: Total subscriber count:	3 4
Total call handler count: Total subscriber count: Total distribution list count:	3 4 6

ステップ15 説明に従って、UnityのデータをUnity Connection にインポートします。

結果:



Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection 8.6(2a)SU1 への移行が正しく実行されました。

Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行手順

テストの説明:

COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity 5.0(1a) のデータが Cisco Unity Connection 8.6(2a) SU1 で正しく復元されることを確認します。

手順

- **ステップ1** Cisco Unity Connection で[管理者(Administrator)]ページ>[ユーザ(Users)]>[新規追加(Add New)]の順に選択して、新規ユーザを追加します。
- ステップ2 [ユーザタイプ(User Type)]で、[メールボックスがあるユーザ(User with Mailbox)]を[メール ボックスがないユーザ(User Without Mailbox)]に変更し、必要なフィールドすべてに入力して、 保存します。
- **ステップ3** ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[パスワードの設定(Password Settings)]の順に選 択して、[無期限にする(Does Not Expire)]チェックボックスをオンにします。
- ステップ4 ユーザを選択し、[編集(Edit)]>[パスワードの変更(Change Password)]の順に選択して、Web アプリケーションパスワードを変更します。
- ステップ5 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[役割(Roles)]の順に選択します。[リモート管理者(Remote Administrator)]を[使用可能な役割(Available Roles)]から[割当済みの役割(Assigned Roles)]に移動させて、保存します。
- ステップ6 Cisco Unity Connection の[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[アドバンス(Advance)]>[Connection 管理者(Connection Administrator)]の順に選択し、[データベースプロキシ:サービスシャットダウンタイマー(日)(Database Proxy: Service Shutdown Timer (in Days))]の日数を変更します。
- ステップ7 Cisco Unity Connection で、[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[SMTP の設定(SMTP Configuration)]>[サーバ(Server)]の順に選択し、[信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する(Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]チェックボックスをオ

ンにして、[信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ(Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses)]をディセーブルにし、保存します。

- **ステップ8** Cisco Unity Connection の [サービスアビリティ (Serviceability)]>[ツール (Tools)]>[サービス 管理 (Service Management)]>[オプションサービス (Optional Services)]>[Connection データベー スプロキシをアクティブにする (Activate Connection Database Proxy)]の順に選択します。
- **ステップ9** COBRAS インポート ツール バージョン 1.2.4 を英語版 Windows OS にインストールします(前提 条件:.NET 2.0 と Informix ODBC ドライバをインストール済みであること)。
- ステップ10 [Start] > [All programs] > [Cisco Systems] > [COBRAS] > [COBRAS Import for Connection] の順に選択 します。
- ステップ11 COBRAS インポート ツールをダブルクリックすると、[Cisco Unity Connection ログイン (Cisco Unity Connection Login)] ポップアップが画面に表示されます。
- ステップ12 [サーバ (Server)] オプションに Unity Connection の IP を指定します。
- **ステップ13** ステップ1で追加したユーザクレデンシャルを使用してログインし、[OK]ボタンをクリックしま す。
- ステップ14 [COBRAS Import for Unity Connection] ポップアップ ウィンドウが画面に表示されます。[バック アップ データベースの場所を選択(Select Backup Database Location)]>[参照(Browse)]の順に 選択し、Unity のバックアップ ファイルが保存されているフォルダを選択します。

he COBRAS import utility works in	1 conjunction with the COBRAS export tool to allow restores, moves and migrations of Subscribers, Call Handlers, Interview
nandlers, Schedule and/or Public anto the Unity Connection server a	Distribution Lists and their membership information. In the following wizard pages you will select which objects you wish to restore and then be asked to resolve all conflicts and missing links associated with those items you choose to restore.
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
'lease review the help file and on iseful information that should be v	screen instructions carefully before proceeding. I here are also training videos available on the tools' home page that contain iewed before using COBRAS in a production environment.
Unity Connection Server Inf	ormation
Server Name:	10.78.239.214
Unity Connection version:	8.6.2.0ES25
Total call bandler count:	8
Total subscriber countr	5
i otal subscriber court.	
Select backup databa	se location
C:\Documents and Settings\nay	ilala\Desktop\unity primary5\COBRAS_Backup_120221_05_53_11\UnityDBData_Backup_120. Browse UNC
Unity version:	5.0(1.0)
Server Name:	HCL-UNITY-SECON
Backup Date:	2/21/2012 5:53:12 AM
Total call handler count:	5
Total subscriber count:	3
Total distribution list count:	21
	9
Voice messages:	

ステップ15 説明に従って、Unityのデータを Unity Connection にインポートします。

結果:

(38 of 38) COBRAS Import for Ur	ity Connection - Import to 10.78.239.214	
Import Objects		
You can select to restore messages if a m selected for restore. You can choose to c	essage backup file is found in the same folder that the directory backup is running from and at least one subscriber is nly restore messages and not update any directory information for users that already exist in the Connection directory.	
Restore voice messages for selected	subscribers	
Allow duplicate messages to be r	estored for users (for restores to Connection 8.6 or later only)	
For existing users ONLY restore n	vessages (do not update other properties for existing users)	
Flestore messages marked secur	Cobras Import for Connection	
Start Import	Import complete. 0 errors and 0 warnings encountered. 9 information items noted in the log as well. Review th	ne log output for details.
Progress		
Import stage: Complete	(OK)	
Current object:		
5/17/2012 11:5241 AM: Sent 5/17/2012 11:5241 AM: FromAl 5/17/2012 11:5241 AM: Restoring 5/17/2012 11:5241 AM: Restoring 5/17/2012 11:5241 AM: Sender 5/17/2012 11:5241 AM: Restoring 5/17/2012 11:5241 AM: Restoring 5/17/2012 11:5242 AM: Restoring 5/17/2012 11:5242 AM: Sender 5/17/2012 11:5242 AM: Sender 5/17/2012 11:5242 AM: Sender 5/17/2012 11:5242 AM: Sender 5/17/2012 11:5242 AM: Denoking 5/17/2012 11:5242 AM: Denoking 5/17/2012 11:5242 AM: Denoking 5/17/2012 11:5242 AM: Denoking 5/17/2012 11:5242 AM: No disab 5/17/2012 11:5242 AM: Sender 5/17/2012 11:5242 AM:	er alias found L23 sent message #5 alias not found L141 message #5 alias not found L111Y_HCL-UNITY-SECON - message will be left as outside caller aiss-UNITY_HCL-UNITY-SECON message will be left as outside caller iss=/UNITY_HCL-UNITY-SECON message restore. enable disabled notification devices idiabled notification	
Help	Contraction Contra	

Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection 8.6(2a)SU1 への移行が正しく実行されました。

Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への 移行手順

テストの説明:

I

COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity 7.0(2) のデータが Cisco Unity Connection 8.6(2a) SU1 で正しく復元されることを確認します。

手順

- **ステップ1** Cisco Unity Connection で [管理者 (Administrator)] ページ > [ユーザ (Users)] > [新規追加 (Add New)] の順に選択して、新規ユーザを追加します。
- **ステップ2** [ユーザタイプ(User Type)]で、[メールボックスがあるユーザ(User with Mailbox)]を[メール ボックスがないユーザ(User Without Mailbox)]に変更し、必要なフィールドすべてに入力して、 保存します。
- ステップ3 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[パスワードの設定(Password Settings)]の順に選択して、[無期限にする(Does Not Expire)]チェックボックスをオンにします。
- ステップ4 ユーザを選択し、[編集(Edit)]>[パスワードの変更(Change Password)]の順に選択して、Web アプリケーションパスワードを変更します。
- ステップ5 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[役割(Roles)]の順に選択します。[リモート管理者(Remote Administrator)]を[使用可能な役割(Available Roles)]から[割当済みの役割(Assigned Roles)]に移動させて、保存します。
- ステップ6 Cisco Unity Connection の[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[アドバンス(Advance)]>[Connection 管理者(Connection Administrator)]の順に選択し、[データベースプロキシ:サービスシャットダウンタイマー(日)(Database Proxy: Service Shutdown Timer (in Days))]の日数を変更します。
- ステップ7 Cisco Unity Connection で、[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[SMTP の設定(SMTP Configuration)]>[サーバ(Server)]の順に選択し、[信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する(Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]チェックボックスをオンにして、[信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ(Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses)]をディセーブルにし、保存します。
- **ステップ8** Cisco Unity Connection の [サービスアビリティ(Serviceability)]>[ツール(Tools)]>[サービス 管理(Service Management)]>[オプションサービス(Optional Services)]>[Connection データベー スプロキシをアクティブにする(Activate Connection Database Proxy)] の順に選択します。
- **ステップ9** COBRAS インポート ツール バージョン 1.2.4 を英語版 Windows OS にインストールします(前提 条件:.NET 2.0 と Informix ODBC ドライバをインストール済みであること)。
- ステップ10 [Start] > [All programs] > [Cisco Systems] > [COBRAS] > [COBRAS Import for Connection] の順に選択 します。
- ステップ11 COBRAS インポート ツールをダブルクリックすると、[Cisco Unity Connection ログイン (Cisco Unity Connection Login)]ポップアップが画面に表示されます。
- ステップ12 [サーバ (Server)] オプションに Unity Connection の IP を指定します。
- **ステップ13** ステップ1で追加したユーザクレデンシャルを使用してログインし、[OK]ボタンをクリックします。
- ステップ14 [COBRAS Import for Unity Connection] ポップアップ ウィンドウが画面に表示されます。[バック アップ データベースの場所を選択(Select Backup Database Location)]>[参照(Browse)]の順に 選択し、Unity のバックアップ ファイルが保存されているフォルダを選択します。

rview h to restore contain
rview Ih to restore contain
VIC.

ステップ15 説明に従って、Unityのデータを Unity Connection にインポートします。

結果:

I

(38 of 38) COBRAS Import for Unity Connection - Import to	10.78.239.214	
Import Objects		
You can select to restore messages if a message backup file is found in the sa selected for restore. You can choose to only restore messages and not updat	ame folder that the directory backup is running from and at least one subscriber is te any directory information for users that already exist in the Connection directory.	
Restore voice messages for selected subscribers		
Allow duplicate messages to be restored for users (for restores to Con	nnection 8.6 or later only)	
For existing users ONLY restore messages (do not update other prope	erties for existing users)	
Restore messages marked secure		
Start Import Cobras Import for Connection		
Progress Import stage: Complete Import complete. 0 errors and 0 wa	arnings encountered. 11 information items noted in the log as well. Review the log out	put for details.
Current object:	СК	
3/1/2012 11:80.0 F Min. Sec. 5/17/2012 11:80.0 F Min. FromAlias=UNITY_UNITY?-P7. SenderANI 5/17/2012 11:80.0 F Min. Treesages sent to the Connection server 5/17/2012 11:80.7 F Min. Treesages sent to the Connection server 5/17/2012 11:80.7 F Min. Freetoring messages for this user from malistor 5/17/2012 11:80.7 F Min. Freetoring messages for this user from malistor 1/2027 04:59.36 MDB Sittory Min. 5/17/2012 11:80.7 F Min. No messages backed up for this subscriber u Vocuments and Settings'nayallelab/Desktop/cur/Backup. Honity 7.0(2)primar 1/2027 04:59.36 MDB Tressages sent to the Connection server 5/17/2012 11:80.7 F Min. No messages backed up for this subscriber u Vocuments and Settings'nayalleab/Desktop/cur/Backup. Honity 7.0(2)primar 1/2027 04:59.36 MDB Treesages sent to the Connection server 5/17/2012 11:80.7 F Min. Re enabling disabled notification devices to 1/17/2012 11:80.7 F Min. 5/17/2012 11:80.7 F Min. No disabled divices found to be re enabled. 5/17/2012 11:80.7 F Min. No disabled divices found to be re enabled. 5/17/2012 11:80.7 F Min. No disabled divices found to be re enabled. 5/17/2012 11:80	I=2013, Subject-Voice Message from Unknown (2013) I 3C527D5) e with connection string=Provider=Microsoft.Jet. 0LEDB. 4.0.Data Source=C: ry\Backups\CDBRAS_Backup_120227_04_59_36\UnityMessage_Backup_ sing connectionstring=Provider=Microsoft.Jet. 0LEDB. 4.0.Data Source=C: ry\Backups\CDBRAS_Backup_120227_04_59_36\UnityMessage_Backup_ s d off during message restore.	
Help <<< Previous	Next >> Exit	302392

Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection 8.6(2a)SU1 への移行が正しく実行されました。

Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への 移行手順

テストの説明:

COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity 8.0(3) のデータが Cisco Unity Connection 8.6(2a) SU1 で正しく復元されることを確認します。

手順

- **ステップ1** Cisco Unity Connection で[管理者(Administrator)]ページ>[ユーザ(Users)]>[新規追加(Add New)]の順に選択して、新規ユーザを追加します。
- ステップ2 [ユーザタイプ(User Type)]で、[メールボックスがあるユーザ(User with Mailbox)]を[メール ボックスがないユーザ(User Without Mailbox)]に変更し、必要なフィールドすべてに入力して、 保存します。
- **ステップ3** ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[パスワードの設定(Password Settings)]の順に選 択して、[無期限にする(Does Not Expire)]チェックボックスをオンにします。
- ステップ4 ユーザを選択し、[編集(Edit)]>[パスワードの変更(Change Password)]の順に選択して、Web アプリケーションパスワードを変更します。
- ステップ5 ユーザを選択し、[編集(Edit)]オプション>[役割(Roles)]の順に選択します。[リモート管理者(Remote Administrator)]を[使用可能な役割(Available Roles)]から[割当済みの役割(Assigned Roles)]に移動させて、保存します。
- ステップ6 Cisco Unity Connection の[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[アドバンス(Advance)]>[Connection 管理者(Connection Administrator)]の順に選択し、[データベースプロキシ:サービスシャットダウンタイマー(日)(Database Proxy: Service Shutdown Timer (in Days))]の日数を変更します。
- ステップ7 Cisco Unity Connection で、[管理者(Administrator)]>[システム設定(System Settings)]>[SMTP の設定(SMTP Configuration)]>[サーバ(Server)]の順に選択し、[信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する(Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]チェックボックスをオ

ンにして、[信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ(Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses)] をディセーブルにし、保存します。

- **ステップ8** Cisco Unity Connection の [サービスアビリティ (Serviceability)]>[ツール (Tools)]>[サービス 管理 (Service Management)]>[オプションサービス (Optional Services)]>[Connection データベー スプロキシをアクティブにする (Activate Connection Database Proxy)]の順に選択します。
- **ステップ9** COBRAS インポート ツール バージョン 1.2.4 を英語版 Windows OS にインストールします(前提 条件:.NET 2.0 と Informix ODBC ドライバをインストール済みであること)。
- ステップ10 [Start] > [All programs] > [Cisco Systems] > [COBRAS] > [COBRAS Import for Connection] の順に選択 します。
- ステップ11 COBRAS インポート ツールをダブルクリックすると、[Cisco Unity Connection ログイン (Cisco Unity Connection Login)] ポップアップが画面に表示されます。
- ステップ12 [サーバ (Server)] オプションに Unity Connection の IP を指定します。
- **ステップ13** ステップ1で追加したユーザクレデンシャルを使用してログインし、[OK]ボタンをクリックします。
- ステップ14 [COBRAS Import for Unity Connection] ポップアップ ウィンドウが画面に表示されます。[バック アップ データベースの場所を選択(Select Backup Database Location)]>[参照(Browse)]の順に 選択し、Unity のバックアップ ファイルが保存されているフォルダを選択します。

(1 of 38) COBRAS Import for Unity Connect	n - Import to 10.78.239.214
Eile Options Help	
The COBRAS import utility works in conjunction with the handlers, Schedule and/or Public Distribution Lists and onto the Unity Connection server and then be asked to Please review the help file and on screen instructions c	DBRAS export tool to allow restores, moves and migrations of Subscribers, Call Handlers, Interview eir membership information. In the following witzard pages you will select which objects you wish to resto solve all conflicts and missing links associated with those items you choose to restore. sfully before proceeding. There are also training videos available on the tools' home page that contain
useful information that should be viewed before using C	JRAS in a production environment.
Unity Connection Server Information	
Server Name: 10.78.239.214	
Unity Connection version: 8.6.2.0ES25	
Total call handler count: 4	
Total subscriber count: 2	
Select backup database location	COBRAS Backup 120224 05 14 56\UnivDBData Backup 120224 0 Browse UNC
Unity version: 8.0(3.3)	
Server Name: UNITY-PRI-EIG	
Backup Date: 2/24/2012 5:14:58	М
Total call handler count: 6	
Total subscriber count: 4	
Total distribution list count: 27	
Voice messages: 4	
Help	<< Previous Next >> Exit

ステップ15 説明に従って、Unity のデータを Unity Connection にインポートします。

結果:

1

38 OT 38J CUBRAS IN	port for Unity Connection - Import to 10.78.239.214	
Import Obj	ects	
You can select to restore n selected for restore. You c	essages if a message backup file is found in the same folder that the directory backu an choose to only restore messages and not update any directory information for user	ip is running from and at least one subscriber is rs that already exist in the Connection directory.
Restore voice messag	es for selected subscribers	
Allow duplicate m	ssages to be restored for users (for restores to Connection 8.6 or later only)	
For existing users	INLY restore messages (do not update other properties for existing users)	
[III] Restore message:	marked secure	
Start Import		
Progress		
Import stage:	Complete	
Current object:		
5/18/2012 12:40:42 PM: 5/18/2012 12:40:42 PM: 5/18/2012 12:40:42 PM: 5/18/2012 12:40:42 PM: 5/18/2012 12:40:42 PM: 5/18/2012 12:40:42 PM:	2 messages found for this subscriber in current message backup DB - restoring. Restoring message # 1 Sender alias found:TEST FromAlias=TEST', SenderANI=4000', Subject=Voice Message from ??? ??? Message sent	(4000)
5/18/2012 12:40 5/18/2012 12:40 Cobre	s Import for Connection	
5/18/2012 12:40 5/18/2012 12:40 Impo 5/18/2012 12:40 5/18/2012 12:40 5/18/2012 12:40 5/18/2012 12:40	rt complete. 0 errors and 0 warnings encountered. 11 information items noted in t	the log as well. Review the log output for details.
5/18/2012 12:40:43 PM: 5/18/2012 12:40:43 PM:	Checking for routing rule import flag	
5/18/2012 12:40:44 PM: 5/18/2012 12:40:44 PM:	Starting report construction Import complete	

Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection 8.6(2a)SU1 への移行が正しく実行されました。



_第2_章

テスト構成

Γ

- ・ テスト構成, 16 ページ
- 構成詳細(全リリース共通), 16 ページ
- 互換性マトリクス, 17 ページ
- 試験対象移行パス, 17 ページ

1

テスト構成

図*1* : テスト構成



 10Gbps Links	8
 Ethernet or PoE Connection ISDN link	3024(

構成詳細(全リリース共通)

カテゴリ	コンポーネント	ハードウェア	バージョン
サーバ	Cisco C シリーズ	C210 M2	1.4(1m)
ハイパーバイザ	ブレードサーバ上の ESXi ホスト		ESXi 4.1
MCS	Cisco Unity	• MCS 7845 H2 • MCS 7845 I2	
音声ゲートウェイ	IOS	音声ゲートウェイ 2801	15.1(4)M2
スイッチ	アクセススイッチ	Cisco 3750	

カテゴリ	コンポーネント	ハードウェア	バージョン
移行ツール	COBRAS インポート ツー ル		1.2.4
移行ツール	COBRASエクスポートツー ル		7.0.120
クライアント	日本語版 OS		Windows 7 および Windows XP
クライアント	英語版 OS		Windows 7 および Windows XP

(注)

COBRAS インポート ツールは英語版 Windows OS にインストールする必要があります。 詳細 については、移行のための条件を参照してください。

互換性マトリクス

番号	Unity	Unified CM
1	4.0(5)	7.1(x), 7.0(x), 6.1(x), 6.0(x), 5.1(x), 5.0(x), 4.3(x), 4.2(x), 4.1(3), 4.1(2), $3.3(x)$
2	5.0(1a)	8.6(x), 8.5(x), 8.0(x), 7.1(x), 7.0(x), 6.1(x), 6.0(x), 5.1(x), 5.0(x), 4.3(x), 4.2(x), 4.1(3), 4.1(2)
3	7.0(2)	8.6(x), 8.5(x), 8.0(x), 7.1(x), 7.0(x), 6.1(x), 6.0(x), 5.1(x), 5.0(x), 4.3(x), 4.2(x), 4.1(3), 4.1(2)
4	8.0(3)	8.6(x), 8.5(x), 8.0(x), 7.1(x), 7.0(x), 6.1(x), 6.0(x), 5.1(x), 5.0(x), 4.3(x), 4.2(x), 4.1(3), 4.1(2)

試験対象移行パス

I

番号	Cisco Unity	Cisco Unity Connection
1	4.0(5)	8.6.(2a)SU1
2	5.0(1a)	8.6.(2a)SU1
3	7.0(2)	8.6.(2a)SU1
4	8.0(3)	8.6.(2a)SU1

試験対象移行パス



テスト結果

- Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行, 19 ページ
- Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行, 22 ページ
- Cisco Unity 7.0(2) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行, 25 ページ
- Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への移行, 28 ページ

Cisco Unity 4.0(5) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への 移行

コンポーネン ト	基本リリース	中間リリース	ターゲット リリース
Cisco Unified Communication Manager	4.1.3	7.1.3-10000-11	8.6.2.20000-2
Cisco Unified Communication Manager ロケー ル	cm-locale-ja_JP-4.1.3.4100	cm-locale-ja_JP-7.1.3.2000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.2.1000-1.cop.sgn
Cisco Unity	4.0(5)	なし	なし
Cisco Unity Connection	なし	なし	8.6.2.21900-5
Cisco Unity Connection ロ ケール	なし	なし	uc-locale-ja_JP-8.6.2.1-25.cop.sgn

テスト構成

I

テスト結果

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CUCM.T.007	Unified CM の SCCP/SIP 電話の登録	Unified CM の SCCP/SIP 電話が正しく登録された かどうかを確認します。	合格	
UC862U.CUCM.T.008	Unified CM パブリッ シャ 4.1(3)	Unified CM が正しくイン ストールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.001	Cisco Unity 4.0(5) パブ リッシャのインストー ル	Cisco Unity パブリッシャ が正しくインストールさ れたかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.002	Cisco Unity 4.0(5) サブ スクライバのインス トール	Cisco Unity サブスクライ バが正しくインストール されたかどうかを確認し ます。	合格	
UC862U.CU.T.003	Cisco Unity 4.0(5) パブ リッシャへのライセン スの適用	Cisco Unity が正しくイン ストールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.004	Unified CM と Cisco Unity の統合	Unified CM と Cisco Unity が正しく統合されたかど うかを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.005	サブスクライバ (ユー ザ)の追加	ボイスメールが設定され た内線番号にサブスクラ イバが正しく追加される かどうかを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.006	電話 A と電話 B との 間でのボイスメール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.007	日本語の文字でのユー ザの追加	日本語の文字でのユーザ の追加を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.008	ボイスメール実行中の 日本語でのプロンプト 再生	ボイスメールの実行中 に、システムでプロンプ トが日本語で再生される かどうかを確認します。	合格	

ſ

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CU.T.009	Cisco Unity パブリッ シャ 4.0(5) のバック アップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CU.T.010	Cisco Unity サブスクラ イバ 4.0(5) のバック アップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.006	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への 移行 - パブリッシャ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity パブリッシャを正 しく復元できたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.007	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への 移行 - サブスクライバ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity サブスクライバを 正しく復元できたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.009	電話 A と電話 B との 間でのボイスメール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.010	Cisco Unity メッセージ の CUC 移行後の有効 性	Cisco Unity のすべての メッセージが、移行後に CUC でも有効かどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.011	追加したユーザの移行 後の有効性	移行後もすべてのユーザ が有効であるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.012	日本語の文字でのユー ザの追加	日本語の文字を使用して ユーザを追加できるかど うかを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.013	移行後のボイスメール 実行中の日本語でのプ ロンプト再生	ボイスメール プロファ イルの IP Phone で、シス テムのプロンプトを日本 語で聞くことができるか どうかを確認します。	合格	

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CUCM.T.017	Unified CM パブリッ シャ 7.1 (3)	Unified CM が正しくイン ストールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.029	電話 A と電話 B との 間でのボイスメール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。		
UC862U.CUCM.T.027	Unified CM パブリッ シャ 8.6(2a)	Unified CM が正しくアッ プグレードされたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.015	電話 A と電話 B との 間でのボイスメール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	

Cisco Unity 5.0(1a) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 へ の移行

テスト構成

コンポーネント	基本リリース	中間リリース	ターゲット リリース
Cisco Unified Communication Manager	6.1.3-1000-16	7.1.5-10000-12	8.6.2.20000-2
Cisco Unified Communication Manager ロケー ル	cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.copsgn	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.copsgn	cm-locale-ja_JP-8.6.2.1000-1.cop.sgn
Cisco Unity	5.0(1a)	なし	なし
Cisco Unity Connection	なし	なし	8.6.2.21900-5
Cisco Unity Connection \square $ \mathcal{F} - \mathcal{I} $	なし	なし	uc-locale-ja_JP-8.6.2.1-25.cop.sgn

ſ

論理 ID	タイトル	説明	ステータス	障害
UC862U.CUCM.T.108	Unified CM 6.1(3) の SCCP/SIP 電話 の登録	Unified CM の SCCP/SIP 電話が正しく登録された かどうかを確認します。	合格	
UC862U.CUCM.T.109	Unified CM パブ リッシャ 6.1(3)	Unified CM が正しくイ ンストールされたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.101	Cisco Unity パブ リッシャ 5.0 (1a) のインストール	Cisco Unity パブリッシャ が正しくインストールさ れたかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.102	Cisco Unity サブス クライバ 5.0(1a) のインストール	Cisco Unity サブスクライ バが正しくインストール されたかどうかを確認し ます。	合格	
UC862U.CU.T.103	Cisco Unity 5.0(1a) パブリッシャへの ライセンスの適用	Cisco Unity のライセンス が正しくアップロードさ れたかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.104	Unified CM と Cisco Unity の統合	Unified CM と Cisco Unity が正しく統合され たかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.105	サブスクライバ (ユーザ)の追加	ボイスメールが設定され た内線番号にサブスクラ イバが追加されるかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.106	電話 A と電話 B との間でのボイス メール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.107	日本語の文字での ユーザの追加	日本語の文字でのユーザ の追加を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.108	ボイスメール実行 中の日本語でのプ ロンプト再生	ボイスメールの実行中 に、システムでプロンプ トが日本語で再生される かどうかを確認します。	合格	

テスト結果

論理 ID	タイトル	説明	ステータス	障害
UC862U.CU.T.109	Cisco Unity 5.0(1a) パブリッシャの バックアップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CU.T.110	Cisco Unity 5.0(1a) サブスクライバの バックアップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.022	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移 行 - パブリッシャ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity パブリッシャを正 しく復元できたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.023	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移 行 - サブスクライ バ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity サブスクライバを 正しく復元できたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.025	電話 A と電話 B との間でのボイス メール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.026	Cisco Unity メッ セージの CUC 移 行後の有効性	Cisco Unity のすべての メッセージが、移行後に CUC でも有効かどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.027	追加したユーザの 移行後の有効性	移行後もすべてのユーザ が有効であるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.028	移行後のボイス メール実行中の日 本語でのプロンプ ト再生	移行後にボイスメール プロファイルの IP Phone で、システムのプロンプ トを日本語で聞くことが できるかどうかを確認し ます。	合格	
UC862U.CUCM.T.045	Unified CM パブ リッシャ 7.1(5)	Unified CM が正しくアッ プグレードされたかどう かを確認します。	合格	

論理ID	タイトル	説明	ステータス	障害
UC862U.CUC.T.029	電話 A と電話 B との間でのボイス メール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CUCM.T.055	Unified CM パブ リッシャ 8.6(2a) のアップグレード	Unified CM が正しくアッ プグレードされたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.030	電話 A と電話 B との間でのボイス メール	電話 A がボイスメール を送受信できるかどうか を確認します。	合格	

Cisco Unity 7.0(2) から **Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1** への 移行

テスト構成

コンポーネント	基本リリース	中間リリース	ターゲット リリース
Cisco Unified Communication Manager	7.1.5-10000-12	なし	8.6.2.20000-2
Cisco Unified Communication Manager ロケール	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop.sgn	なし	cm-locale-ja_JP-8.6.2.1000-1.cop.sgn
Cisco Unity	7.0(2)	なし	なし
Cisco Unity Connection	なし	なし	8.6.2.21900-5
Cisco Unity Connection ロケー ル	なし	なし	uc-locale-ja_JP-8.6.2.1-25.cop.sgn

テス	ト	結	果
			~

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CUCM.T.119	Unified CM 7.1(5)の SCCP/SIP 電話の登 録	Unified CM の SCCP/SIP 電話が正しく登録され たかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CUCM.T.120	Unified CM パブリッ シャ 7.1(5)	Unified CM が正しくイ ンストールされたかど うかを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.111	Cisco Unity 7.0(2) パ ブリッシャのインス トール	Cisco Unity パブリッ シャが正しくインス トールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.112	Cisco Unity 7.0(2) サ ブスクライバのイン ストール	Cisco Unity サブスクラ イバが正しくインス トールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.113	Cisco Unity 7.0(2) パ ブリッシャへのライ センスの適用	Cisco Unity のライセン スが正しくアップロー ドされたかどうかを確 認します。	合格	
UC862U.CU.T.114	Unified CM パブリッ シャ 7.1(5) と Cisco Unity パブリッシャ 7.0(2) の統合	Unified CM と Cisco Unity が正しく統合され たかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.115	サブスクライバ (ユーザ)の追加	ボイスメールが設定さ れた内線番号にサブス クライバを追加できる かどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.116	電話 A と電話 B と の間でのボイスメー ル	電話 A がボイスメール を送受信できるかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.117	日本語の文字での ユーザの追加	日本語の文字でのユー ザの追加を確認しま す。	合格	

ſ

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CU.T.118	ボイスメール実行中 の日本語でのプロン プト再生	ボイスメール プロファ イルの IP Phone で、シ ステムのプロンプトを 日本語で聞くことがで きるかどうかを確認し ます。	合格	
UC862U.CU.T.119	Cisco Unity 7.0(2) パ ブリッシャのバック アップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアッ プを作成できるかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.120	Cisco Unity 7.0(2) サ ブスクライバのバッ クアップ	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアッ プを作成できるかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.037	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行 - パブリッシャ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity パブリッシャを正 しく復元できたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.038	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行 - サブスクライバ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity パブリッシャを正 しく復元できたかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.040	電話 A と電話 B と の間でのボイスメー ル	電話 A がボイスメール を送受信できるかどう かを確認します。	合格	
UC862U.CUC.T.041	Cisco Unity メッセー ジの CUC 移行後の 有効性	Cisco Unity のすべての メッセージが、移行後 に CUC でも有効かどう かを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.042	追加したユーザの移 行後の有効性	移行後もすべてのユー ザが有効であるかどう かを確認します。	合格	

論理 ID	タイトル	説明	ステータ ス	障害
UC862U.CUC.T.043	移行後のボイスメー ル実行中の日本語で のプロンプト再生	移行後にボイスメール プロファイルの IP Phone で、システムのプロン プトを日本語で聞くこ とができるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CUCM.T.130	Unified CM パブリッ シャ 8.6(2a) のアッ プグレード	Cisco Unified Communications Manager が正しくアップグレー ドされたかどうかを確 認します。	合格	
UC862U.CUC.T.044	電話 A と電話 B と の間でのボイスメー ル	電話 A がボイスメール を送受信できるかどう かを確認します。	合格	

Cisco Unity 8.0(3) から Cisco Unity Connection8.6.(2a)SU1 への 移行

テスト構成

コンポーネント	基本リリース	中間リ リース	ターゲット リリース
Cisco Unified Communication Manager	8.5.1-10000-26	なし	8.6.2.20000-2
Cisco Unified Communication Manager ロケー ル	cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000.1.cop.sgn	なし	cm-locale-ja_JP-8.6.2.1000-1.cop.sgn
Cisco Unity	8.0(3)	なし	なし
Cisco Unity Connection	なし	なし	8.6.2.21900-5
Cisco Unity Connection ロ ケール	なし	なし	uc-locale-ja_JP-8.6.2.1-25.cop.sgn

ſ

論理 ID	タイトル	説明	ステータス	障害
UC862U.CUCM.T.089	Unified CM 8.1(5) の SCCP/SIP 電話 の登録	Unified CM の SCCP/SIP 電話が正しく登録された かどうかを確認します。	合格	
UC862U.CUCM.T.090	Unified CM パブ リッシャ 8.1(5)	Unified CM が正しくイン ストールされたかどうか を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.030	Cisco Unity 8.0(3) パブリッシャのイ ンストール	Cisco Unity パブリッシャ が正しくインストールさ れたかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.031	Cisco Unity 8.0(3) サブスクライバの インストール	Cisco Unity サブスクライ バが正しくインストール されたかどうかを確認し ます。	合格	
UC862U.CU.T.032	Cisco Unity 8.0(3) パブリッシャへの ライセンスの適用	Cisco Unity のライセンス が正しくアップロードさ れたかどうかを確認しま す。	合格	
UC862U.CU.T.033	Cisco Unity パブ リッシャ 8.0(3) と Unified CM パブ リッシャ 8.1(5) の 統合	Unified CM と Cisco Unity が正しく統合されたかど うかを確認します。	合格	
UC862U.CU.T.034	サブスクライバ (ユーザ)の追加	サブスクライバが正しく 追加されるかどうかを確 認します。	合格	
UC862U.CU.T.035	電話 A と電話 B と の間でのボイス メール	電話Aがボイスメールを 送受信できるかどうかを 確認します。	合格	
UC862U.CU.T.036	日本語の文字での ユーザの追加	日本語の文字でのユーザ の追加を確認します。	合格	
UC862U.CU.T.037	ボイスメール実行 中の日本語でのプ ロンプト再生	ボイスメールプロファイ ルのIP Phoneで、システ ムのプロンプトを日本語 で聞くことができるかど うかを確認します。	合格	

テスト結果

論理 ID	タイトル	説明	ステー	-タス	障害
UC862U.CU.T.038	Cisco Unity 8.0(3) パブリッシャの バックアップ。	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格		
UC862U.CU.T.039	Cisco Unity 8.0(3) サブスクライバの バックアップ。	COBRAS エクスポート ツールを使用して Unity サーバからバックアップ を作成できるかどうかを 確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.051	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移 行 - パブリッシャ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity パブリッシャを正 しく復元できたかどうか を確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.052	Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移 行 - サブスクライ バ	COBRAS インポート ツールを使用して Cisco Unity サブスクライバを 正しく復元できたかどう かを確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.055	電話 A と電話 B と の間でのボイス メール	電話Aがボイスメールを 送受信できるかどうかを 確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.056	Cisco Unity メッ セージの CUC 移行 後の有効性	Cisco Unity のすべての メッセージが、移行後に CUCでも有効かどうかを 確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.057	追加したユーザの 移行後の有効性	移行後もすべてのユーザ が有効であるかどうかを 確認します。	合格		
UC862U.CUC.T.058	移行後のボイス メール実行中の日 本語でのプロンプ ト再生	移行後にボイスメールプ ロファイルの IP Phone で、システムのプロンプ トを日本語で聞くことが できるかどうかを確認し ます。	合格		
UC862U.CUCM.T.100	Unified CM パブ リッシャ 8.6(2a) の アップグレード	Unified CM が正しくアッ プグレードされたかどう かを確認します。	合格		

ſ

論理ID	タイトル	説明	ステータス	障害
UC862U.CUC.T.059	電話Aと電話Bと の間でのボイス メール	電話Aがボイスメールを 送受信できるかどうかを 確認します。	合格	



÷4

制限事項と関連資料

- 移行のための条件, 33 ページ
- 関連資料, 34 ページ

移行のための条件

I

Cisco Unity から Cisco Unity Connection への移行のための条件は次のとおりです。

 COBRAS インポートツールが英語版 Windows OS にインストールされていること。(COBRAS インポート ツールが日本語版の Windows OS にインストールされていると、Cisco Unity から Cisco Unity Connection に日本語の文字がインポートされません)。

(14 of 38) COBRAS Impor Resolve Partit	t for Unity Connection	- Import to 10.78.239.214 25	Windows Japanese OS
This table includes a list of partition unmapped entries by selecting a p update the list of available partition	is that are referenced by the subs artition on the voice mail system t s if you change this on the voice	scribers, name lookup handlers and call handlers you've selec o use for that item before continuing. The Refresh button ca mail server while COBRAS is running.	cted to restore. Please resolve all n be used to force the grid to
Backed up Partition Name	Existing Partition Name of	n Voice Mail Server	
Loading call h	andler details		
Cobras Import for	Connection		
COBRAS may not b isn't a problem with	ings encountered with the obje e able to import this object int this object.	ot with displayname=ar arrarrarraraari o the database. You may want to unselect this object o	or check the system you backed up to make sure there
Copy to all Unmapped Rows]		Befresh
Help	<< <u>E</u> r	evious	Egit

・Windows XP および Windows 7 日本語 OS: CU の日本語の文字は CUC で復元されません。

・Windows XP および Windows 7 英語版 OS: CU の日本語の文字は CUC で正しく復元されます。

関連資料

移行エクスポート ツールを使用するユーザ インポートについて

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/upgrade/guide/7xcucrug022.html#wp1056738

COBRAS ツール

http://www.ciscounitytools.com/Applications/General/COBRAS/COBRAS.html

Unity & Exchange

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cuclientmtx.html#wp68380

 $http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps2237/product_data_sheet0900aecd802132ef.pdf$

ハードウェア

http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps2237/product_data_sheet0900aecd802132ef.pdf

互換

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cutspmtx.html#wp51076